

2026年9月期 中間期 決算説明会資料

株式会社ミライロ（東証グロース:335A）



会社概要

1. 会社概要

p2

2. 2026年9月期 中間期決算ハイライト

p9

3. 参考資料

p20

ミライロについて①

代表取締役社長
垣内俊哉



企業理念



社名	株式会社ミライロ
設立	2010年6月
事業	①障害者に向けたデジタルプラットフォーム「ミライロID」の運営 ②法人や自治体に向けたユニバーサルデザインのソリューション提供
拠点	大阪本社（大阪市淀川区西中島三丁目8番15号） 東京支社（東京都品川区東五反田五丁目26番5号）



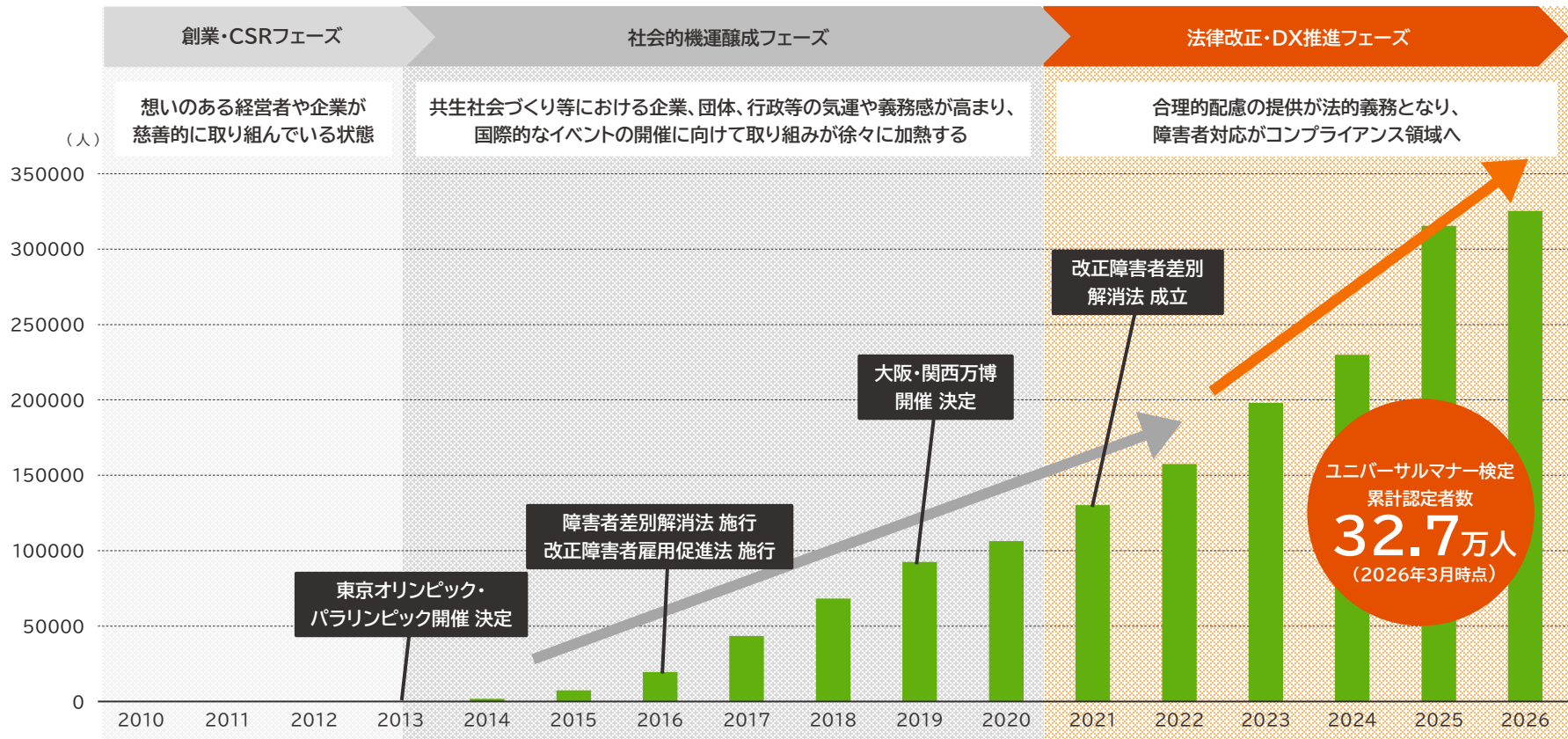
ミライロについて②

受賞歴	
2018年2月	Japan Venture Awards 2018 経済産業大臣賞 受賞
2018年2月	関西財界セミナー賞 2018 特別賞 受賞
2020年11月	J-Startup KANSAI 選定
2021年10月	デジタル社会推進賞
2022年1月	財界・経営者賞 受賞
2022年1月	経済界・金の卵発掘プロジェクト2021グランプリ 受賞
2022年10月	グッドデザイン賞 受賞
2022年11月	PRIDE指標 最高評価 ゴールド 6年連続受賞
2023年4月	知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞
2023年6月	日本スタートアップ大賞2023 厚生労働大臣賞 受賞
2025年7月	日本DX対象2025 優秀賞 受賞
2025年12月	第5回日本サービス大賞 厚生労働大臣賞を受賞
2025年12月	EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2025 Japan 選考委員特別賞を受賞
関連団体	
一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（ユニバーサルマナー検定の認定）	
民間事業者による合理的配慮推進委員会（運営事務局）	

主な株主(五十音順 2026年3月時点)
大阪市高速電気軌道株式会社
花王株式会社
京王電鉄株式会社
住友林業株式会社
西武鉄道株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社三菱UFJ銀行
ヤマトホールディングス株式会社
株主数
5,404名(2026年3月時点)



ミライロについて③



ミライロが取り組む社会課題

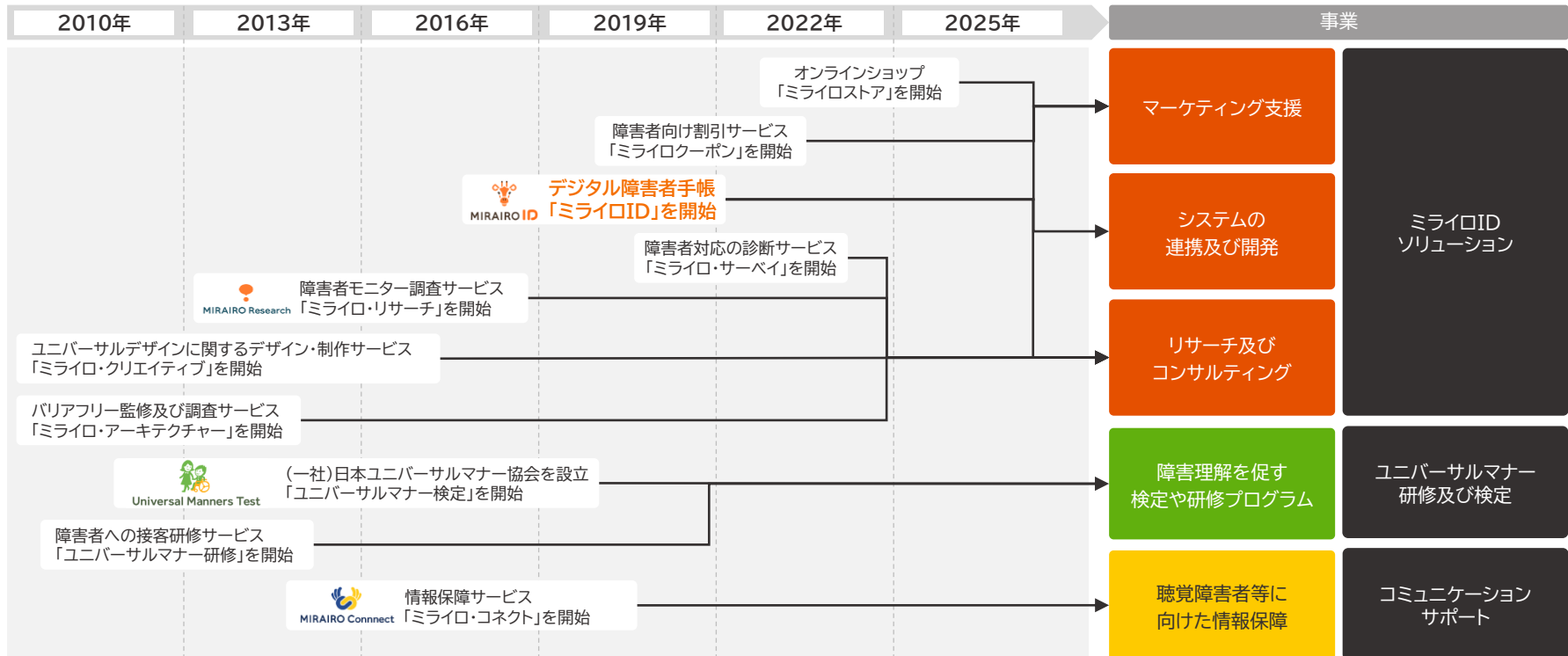


社会に存在する「環境・意識・情報」のバリアを解消し、価値に変える



ソリューションの変遷

創業以降、障害のある当事者視点を活かし、環境、意識、情報のバリア解消に繋がるソリューションを生み出し続ける。
 ミライロIDをリリース後は、障害者プラットフォームを活かした事業モデルに集約を進め、より高付加価値な事業に変化。



ソリューションの特徴と価値

障害のある顧客や従業員の対応など、社会的なバリアの解消に向けた複合的なソリューションを保有。
ミライロIDによる障害者プラットフォームを軸に、専門的知見やシステムも駆使することで高い限界利益率を実現。

事業	特徴	提供価値	
ミライロID ソリューション	マーケティング支援	<ul style="list-style-type: none"> 障害者プラットフォームへの広告やクーポンの配信、製品の販売などが可能 クローズドマーケットに対して、独自の割引設定やパーソナルデータを活かしたアプローチが可能 	<ul style="list-style-type: none"> 企業姿勢の発信やブランディング 潜在的な市場や顧客の新規開拓・売上増
	システムの 連携及び開発	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化された障害者手帳情報を用いたAPI連携や連携に向けたシステム開発を実施 従来紙での対応が必須であった障害者情報の認証や割引対応、連携によるアプリ間送客も可能 	<ul style="list-style-type: none"> オペレーションコストの低減 デジタルを用いた法令遵守対応
	リサーチ及び コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> 国内最大規模の障害者データを活かした定量・定性的なリサーチやコンサルティングを実施 法定対応に対する現状把握のためのサーベイや環境整備に向けたコンサルティング対応 	<ul style="list-style-type: none"> 潜在的なニーズ把握 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応
ユニバーサルマネー 研修及び検定	障害理解を促す検定 や研修プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 障害理解において国内最多となる32.7万人の認定者数※2と高い満足度の検定プログラム 業界特化型など独自のプログラムを開発 eラーニングや現地派遣など多様な受講形式 	<ul style="list-style-type: none"> 行動変容によるCS向上や雇用率の改善 法令違反や風評被害等のリスク低減
コミュニケーション サポート	聴覚障害者等に に向けた情報保障	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔での手話通訳サービスや手話・文字通訳者の現地派遣など、多様な情報保障サービスを提供 専門性を有する多数の手話通訳者や文字通訳者が在籍 	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害者の仕事のパフォーマンス向上 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応

※1 事前的改善措置とは、施設のバリアフリー化、意思表示やコミュニケーションを支援するためのサービスや人的支援、情報アクセシビリティの向上など、環境の整備のことです。

※2 当社調べ。人数は2026年3月時点の累計認定者数。

2026年9月期 中間期決算ハイライト

1. 会社概要

p2

2. 2026年9月期 中間期決算ハイライト

p9

3. 参考資料

p20



2026年9月期 中間期 業績ハイライト

2026年9月期 中間期(2025年10月～2026年3月)における実績。前年同期に大阪・関西万博関連案件をはじめとする大型案件が集中した反動に加え、当期受注済みの大型案件の納品が下期に集中したことにより、売上高、売上総利益、営業利益はいずれも前年同期を下回る結果。

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	中間純利益
391百万円	237百万円	31百万円	32百万円	22百万円
前年同期比 92.4%	前年同期比 85.6%	前年同期比 38.5%	前年同期比 51.5%	前年同期比 66.2%

業績概要 トピックス

- ・ 前年同期の大型案件集中の反動および当期大型案件の下期偏重により減収減益
- ・ 東京2025デフリンピックの開催を追い風に、コミュニケーションサポート事業が増収
- ・ ユニバーサルマナー検定(鉄道)の累計受講者数が5,000名を突破
- ・ ミライロID対応の駐車場・駐輪場が230箇所超に拡大



損益計算書(2026年9月期 中間期)

売上高は前年同期比7.6%減。ユニバーサルマナー研修及び検定事業およびミライロIDソリューション事業の減収が響いた一方、コミュニケーションサポート事業は増収。高利益率事業であるユニバーサル研修及び検定の売上減少により売上総利益は同14.4%減となり、上場維持関連の支払手数料増加およびソフトウェア投資により販売費及び一般管理費も増加したことで、営業利益は同61.5%減。

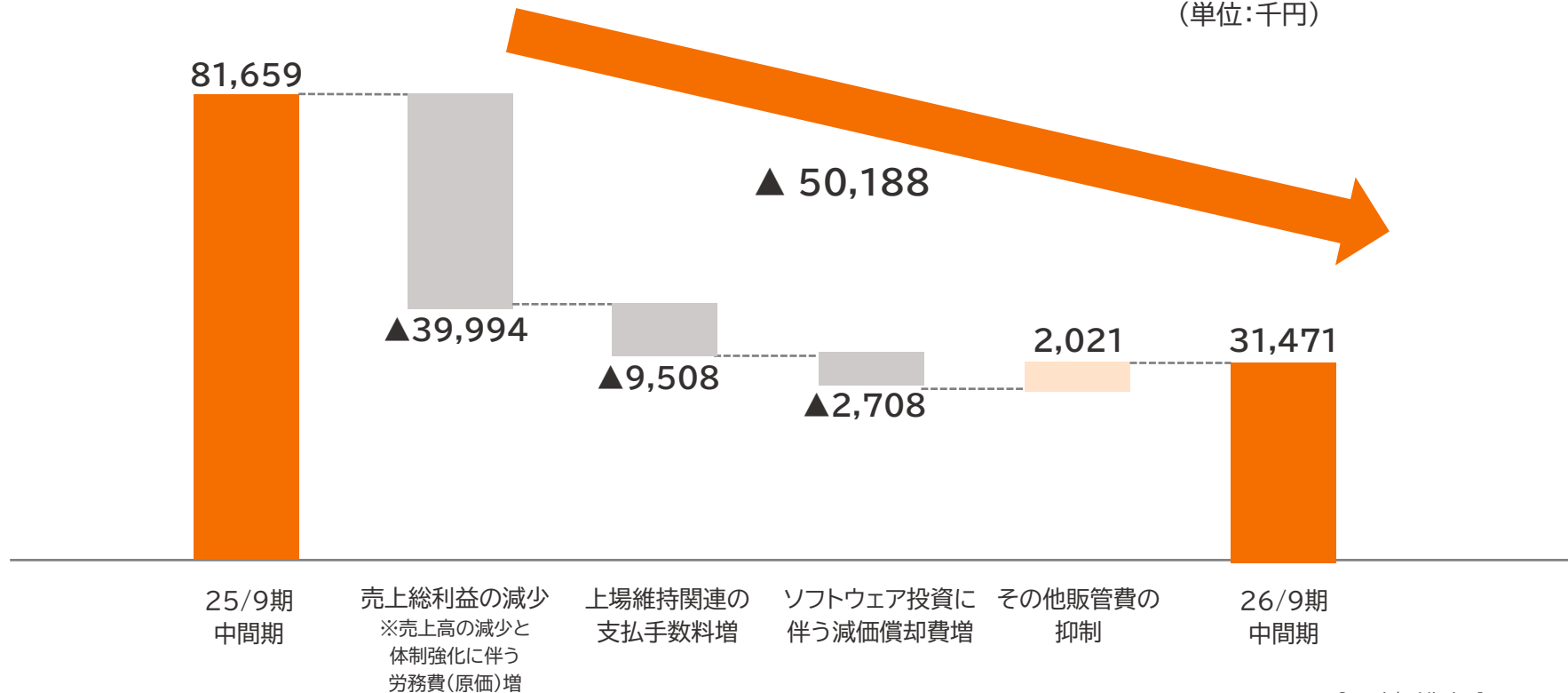
(単位:千円)	2025年9月期 (中間期)		2026年9月期 (中間期)		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	423,904	100.0%	391,771	100.0%	92.4%
ミライロIDソリューション	163,942	38.7%	151,553	38.7%	92.4%
ユニバーサルマナー研修及び検定	166,550	39.3%	138,643	35.4%	83.2%
コミュニケーションサポート	93,411	22.0%	101,574	25.9%	108.7%
売上原価	146,132	34.5%	153,992	39.3%	105.4%
売上総利益	277,772	65.5%	237,778	60.7%	85.6%
販売費及び一般管理費	196,112	46.3%	206,307	52.7%	105.2%
営業利益	81,659	19.3%	31,471	8.0%	38.5%
経常利益	62,776	14.8%	32,299	8.2%	51.5%
中間純利益	33,413	7.9%	22,109	5.6%	66.2%
EBITDA(営業利益+減価償却費+敷金償却)	95,834	22.6%	48,561	12.4%	50.6%



営業利益の増減要因

売上減少の影響と、事業成長及び管理体制の強化に向けた人員確保(採用)や上場維持関連維持コストの発生、ソフトウェア投資に伴う減価償却費が増加した結果、営業利益は前年同期比で50,188千円の減少。

(単位:千円)





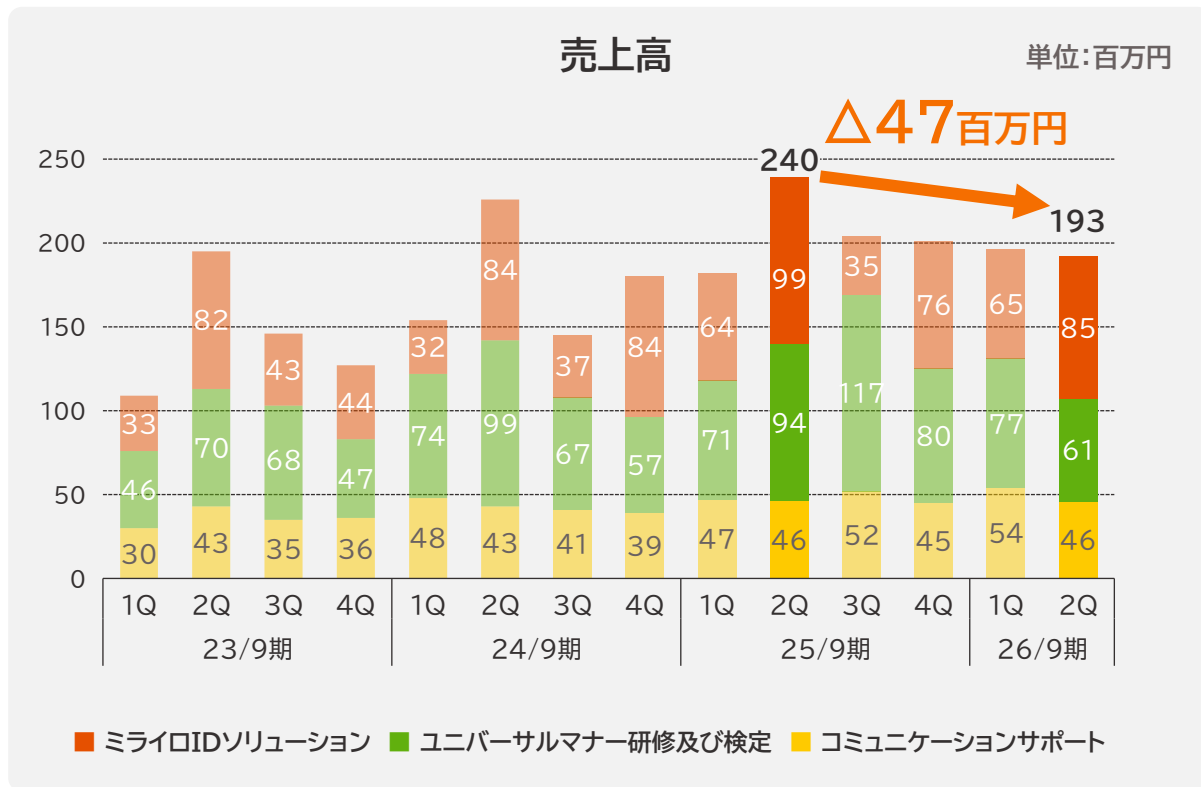
貸借対照表(2026年9月期 中間期)

ミライロID等のシステム開発に伴うソフトウェアの増加により固定資産は前期末比12,374千円増加。借入金の返済が進み有利子負債は前期末比7,374千円減少し、中間純利益の計上等により純資産は前期末比22,129千円増加、自己資本比率は75.2%から78.2%へ3.0ポイント改善。

(単位:千円)	2025年9月期	構成比	2026年9月期 (中間期)	構成比	前期末比増減
流動資産	1,025,478	87.5%	1,004,948	87.2%	△20,530
現金及び預金	904,017	77.1%	896,639	78.4%	△7,378
売掛金	97,947	8.4%	91,203	7.0%	△6,744
固定資産	146,500	12.5%	151,109	12.8%	+4,609
ソフトウェア	71,710	6.1%	84,084	6.2%	+12,374
繰延税金資産	35,378	3.0%	29,267	2.7%	△6,111
資産合計	1,171,979	100.0%	1,156,057	100.0%	△15,922
流動負債	237,992	20.3%	207,315	19.1%	△30,677
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	109,748	9.4%	109,748	9.6%	±0
固定負債	52,063	4.4%	44,689	4.2%	△7,374
長期借入金	51,278	4.4%	43,904	4.1%	△7,374
純資産	881,923	75.3%	904,052	76.8%	+22,129
負債・純資産合計	1,171,979	100.0%	1,156,057	100.0%	△15,922
(自己資本比率)	75.2%	-	78.2%	-	+3.0ポイント

四半期ごとの業績推移

第2四半期単体では、ユニバーサルマナー研修及び検定事業およびミライロIDソリューション事業の減収により、前年同期比80.6%の着地。



■ミライロIDソリューション

- 導入事業者数:4,270事業者
- ユーザー数 :61.7万人
- 月間アクティブユーザー数:22.9万人
- 日本郵便が「ミライロID」を本人確認として採用
- 神奈川県と連携協定を締結

■ユニバーサルマナー研修及び検定

- 累計認定者数32.7万人(2026年3月末)
- 「ユニバーサルマナー検定(鉄道)」の累計受講者数が5,000名超。
- 前年同期の「大阪・関西万博」に関連する大型案件の反動と、受注済み大型案件の下期集中による減収。

■コミュニケーションサポート

- 「東京2025デフリンピック」の影響による需要増加で増収。
- 東京宝塚劇場、東京都現代美術館で研修講座のための講師派遣。
- 令和8年度 手話通訳士 試験対策講座「ミライロ・コネクト Club」をスタート。



トピックス

上場後も様々な取り組みを進め、継続的にPR情報を発信。

業界ごとの主要な顧客への導入の拡がりを積極的に公開し、社会的な影響力を拡大するため、行政との連携協定を締結。

2025年10月

- 10/16 大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」で株式会社カプコンが提供した体験型コンテンツ「モンスターハンター ブリッジ」の監修協力をしました
- 10/28 コンビニ業界初！「デフリンピック」会場近隣店舗でファミリーマートが「ミライロ・コネクト」を導入しました

2025年11月

- 11/13 Forbes JAPAN BrandVoice に、代表の垣内への取材記事が掲載されました
- 11/26 ミライロ ID のライフプラットフォームに東京都公園協会が参画、ミライロチケットにて「庭紅葉の六義園 夜間特別観賞」のチケットを販売します

2025年12月

- 12/11 ミライロIDが「第5回日本サービス大賞」厚生労働大臣賞を受賞
- 12/15 代表の垣内俊哉が「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2025 Japan」で選考委員特別賞を受賞

2026年1月

- 01/09 レノファ山口FCが「ミライロID」に参画し、今季ホームゲームの各種チケットをミライロチケットで販売！中四国地域のJリーグクラブによる導入は初！
- 01/13 東京ヴェルディが「ミライロID」に参画し、東京ヴェルディと日テレ・東京ヴェルディベレーザのチケットを販売！WEリーグ導入はミライロチケット初！

2026年2月

- 02/05 神奈川県と障害者雇用に関する連携協定を締結しました

2026年3月

- 03/05 日本郵便がデジタル障害者手帳「ミライロ ID」に参画！「青い鳥郵便葉書」の無償配付のお申込みにおいて障害者手帳と同様の確認書類として採用！
- 03/31 デジタル障害者手帳「ミライロ ID」が名鉄協商パーキングの駐車料金精算システムと連携



2026年9月期 業績予想

2026年9月期における業績予想。

各事業ともに通期の成長を継続しつつ、収益性や生産性の向上により、利益率のさらなる向上を目指す。

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
940百万円	631百万円	200百万円	201百万円	135百万円
前年比 112.9%	前年比 113.3%	前年比 140.7%	前年比 163.4%	前年比 165.7%

業績予想 トピックス

- 下期の大型案件の受注等により、売上高112.9%、営業利益は140.7%の成長を計画。
- ミライロ・キャリア等の新規事業の立上げ及び行政案件の受注を強化。
- 東京2025デフリンピック開催に伴う機運の高まりや、2026年7月からの法定雇用率の引き上げなど、引き続き外部環境は追い風。
- 営業活動の見直しと教育体制の整備により、受注拡大を目指す。

2026年9月期の重点施策

ミライロIDのユーザー数の拡大



自治体への発信を強化することをとおして、障害者への認知拡大とユーザー数の増加を図る。

業種別の検定プログラムの展開



ユニバーサルマナー検定を基に、各業界に特化したコンテンツの構築と横展開を行う。

大型案件の受注強化



営業体制のさらなる強化による大型案件の受注と迅速な納品体制を強化。

行政案件の受注強化



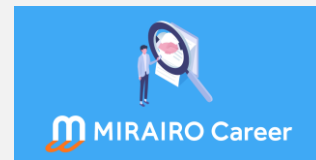
官公庁や地方公共団体のプロジェクト案件に対する参画や落札をとおして大型案件の獲得およびインフラ構築の地位を確立。

ミライロID Globalの開始



国内の障害のある外国人旅行者の声を導入事業者を通じて収集し、グローバル展開を見据えたサービス開発を実施。

ミライロ・キャリアの開始



法定雇用率の引き上げに伴うニーズ拡大に対して、人材サービス・ユニバーサルマナー・職場環境を改善するソリューションを提供。

行政からの受注強化(官公庁や地方公共団体からの案件やプロジェクト参画)

国土交通省「地域交通DXプロジェクト COMmmONS」における鉄道介助申請の標準化調査業務に参画。本プロジェクトは、全国の鉄道事業者が共通して利用できる「介助依頼インターフェース」の標準化を担うもの。ミライロIDを基盤とした共通ルールの策定とシステム実装を主導することで、ミライロIDを基盤とした「共通のルール(標準仕様)」が全国の交通機関へ普及することを目指すプロジェクト。



2026年4月27日

各 位

株 式 会 社 ミ ラ イ ロ
代 表 取 締 役 社 長 垣 内 俊 哉
(コード番号:335A 東証グロース市場)

国土交通省「地域交通DXプロジェクト」への参画に関するお知らせ

当社は「バリアバリュー」を企業理念とし、障害のある当事者の視点から、社会における「障害=バリア」を、「価値=バリュー」に転換するインフラソリューションの提供を行っております。この度、国土交通省が事業を実施する地域交通DXプロジェクト「COMmmONS(コモンズ)」において、「地域交通DXの推進に向けた交通サービスへの介助依頼インターフェースの標準化調査業務」に参画することとなりましたのでお知らせいたします。

【参考】国土交通省 COMmmONS(コモンズ) Webサイト <https://www.mlit.go.jp/commmmons/>

■ 背景

現在、車いすユーザーなどの要介助者が電車に乗る際、事前の申し込みは鉄道会社ごとにルールが異なります。

【本プロジェクトの役割】

①「共通ルール」の策定

全国の交通事業者が共通して使える、介助依頼の項目や連絡フローの「標準規格」を設計。

②「一括窓口(インターフェース)」の開発事業者をまたぐ移動でも、ミライロIDを起点に「一回の操作」で全行程の依頼が完結するプロトタイプを構築。

③「社会実装」の検証

実際の駅で実証実験を行い、現場の負担軽減とユーザーの利便性を両立する「運用ガイドライン」を策定。

新規事業「ミライロ・キャリア」の開始

「ミライロ・キャリア」は、ユーザー数60万人超の「ミライロID」を基盤とした、障害者特化型のハイキャリア人材紹介サービス。2026年7月に法定雇用率が2.5%から2.7%に引き上げられることを背景に、高まる障害者の「即戦力」への企業ニーズに対し、専門スキルを持つ障害者と、高付加価値業務をマッチングすることで、障害者雇用の質的向上を目指す。



事業の3つの柱(ソリューション内容)

①ハイキャリア特化型の人材紹介

専門スキルや実務経験を持つ障害者と、即戦力を求める企業をマッチング。「高付加価値業務」への就労を後押しし、障害者の所得向上とキャリア形成を支援。

②職場アクセシビリティ診断

当事者視点でハード・ソフト・デジタルのバリアを特定。採用前の環境整備を包括的に支援。

③「ユニバーサルマナー検定(雇用)」の展開

30万人以上の認定実績を持つユニバーサルマナー検定の知見を活かした新プログラム。現場レベルのリテラシーを高め、心理的安全性の高い組織文化を醸成。

1. 会社概要

p2

2. 2026年9月期 中間期決算ハイライト

p9

3. 参考資料

p20

障害者と社会を繋げるライフプラットフォーム「ミライロID」



障害者手帳を「紙」から「デジタル(ミライロID)」へ

障害者の移動や生活をもっと便利に、もっと自由に。



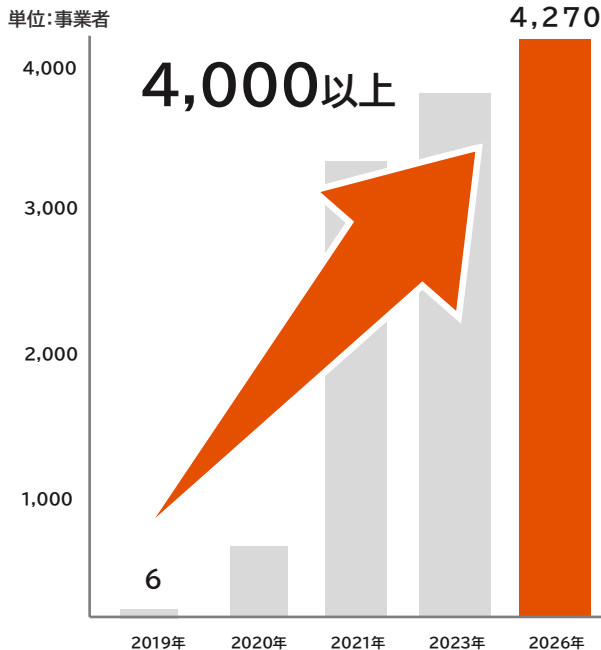
<p>▲</p> <p>事業者の課題</p> <p>292種類のフォーマット</p>	<p>▲</p> <p>事業者・障害者の課題</p> <p>紛失や個人情報の漏洩リスク</p>	<p>▲</p> <p>障害者の課題</p> <p>手帳提示による心理的負担</p>
---	--	---

社会との連携により広がる共感の輪



マイナポータル連携により公的な信頼を得られたこと等がきっかけとなり、鉄道をはじめとする障害者割引を有する企業での導入が急拡大。継続的に官公庁とも連携し、アプリの認知を拡大。

▼導入事業者数の推移

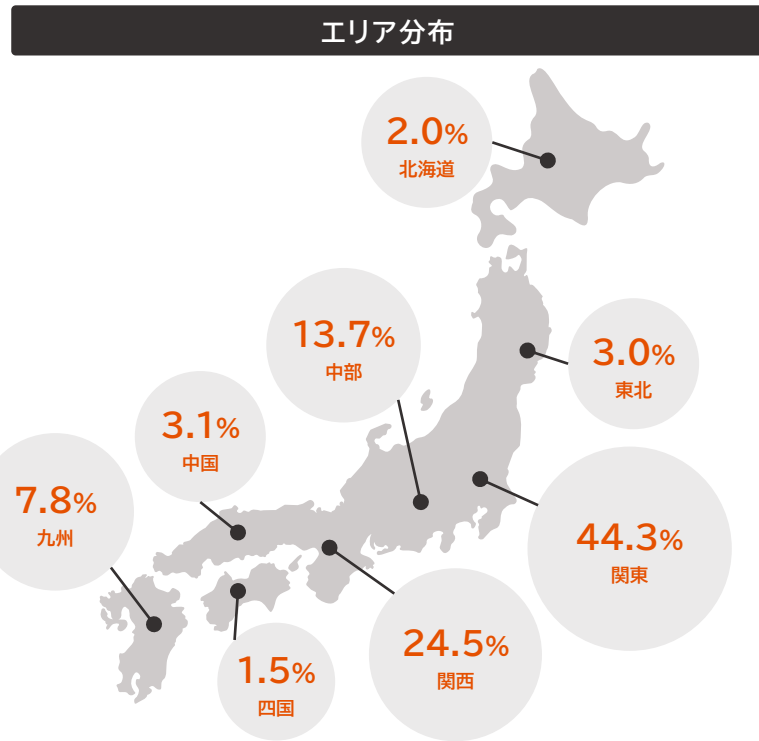
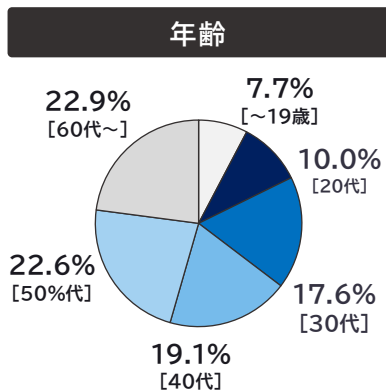
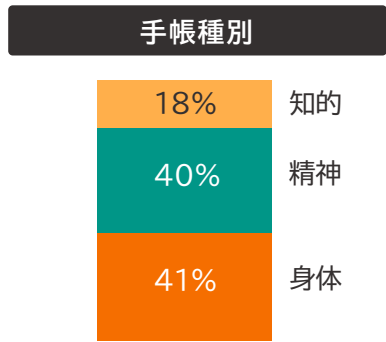


▼ミライロIDのこれまでの歩み

- 18年7月 障害者手帳の電子化に向けた検討を開始
- 19年1月 国土交通省：交通事業者への現物確認不要の通知が発出
- 19年7月 ミライロIDのiOS、Android版を同日リリース
- 20年6月 内閣官房：マイナポータルとミライロIDが連携
- 20年6月 内閣官房：事業者へのミライロIDの導入推奨の通知が発出
- 20年10月 鉄道局：ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年3月 JR各社を含む全国鉄道会社123社がミライロIDを採用
- 21年4月 自動車局：ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年7月 障害者割引価格のオンラインチケットの提供を開始
- 21年7月 内閣官房：事業者へのオンライン予約の障害者対応を要請する通知が発出
- 21年10月 デジタル社会推進賞(デジタル庁)を受賞
- 22年8月 駐車場精算機とミライロIDが連携
- 23年6月 「日本スタートアップ大賞2023」(経済産業賞)にて厚生労働大臣賞を受賞
- 24年1月 ミライロIDにて、オンラインストアの提供を開始
- 25年3月 厚生労働省：全国の自治体に向け、障害者への周知を要請する通知が発出
- 25年7月 「日本DX大賞2025」(日本DX大賞実行委員会)にてSX部門 優秀賞を受賞
- 25年12月 「第5回日本サービス大賞」(公益財団法人日本生産性本部)にて厚生労働大臣賞を受賞

ミライロIDのユーザー数と特徴

2026年にユーザー数は61万人を突破し、毎月約1万人のペースで増加を続ける。
 障害者の人口統計と比較して20～50代のユーザーが多い傾向にあり、外出頻度が高く、企業に勤める障害者の割合も高い。



ミライロIDの3つの強み

類似アプリが存在しない 大規模な障害者 プラットフォーム

- マーケティング活用の広がり
- 先行した行政や企業との連携、
特許による参入障壁の高さ

デジタル上のあらゆる 障害者対応の 必須ツール

- 障害者の本人認証の簡素化
- 障害者割引決済の円滑化

創業来培ってきた 専門的ソリューション との連動

- 専門的知見と当事者データ
に基づくコンサルティング
やシステム開発

ミライロIDソリューションについて

デジタル障害者手帳「ミライロID」のプラットフォームやデータベースを基盤としたソリューションを提供。アプリによる直接的サービス提供、システム連携によるサービス提供、データ等を基にしたコンサルティングを実施。



マーケティング支援の取り組み事例



- 1 株式会社ナイキジャパン
ユーザー限定の先行販売や
クーポン提供



- 2 株式会社日本HP
障害者手帳特別割引の適用



- 3 株式会社ファミリーマート
創立40周年に合わせた
クーポン提供



- 4 ロイヤルホールディングス株式会社
「ROYAL DELI」の
ミライロストアへの出品



- 5 株式会社ジンズ
ECサイトと店舗での
クーポン提供



- 6 WHILL株式会社
レンタルや購入時の
クーポン提供

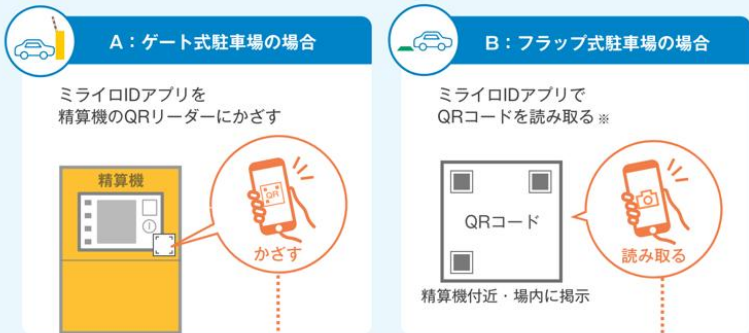
多くの企業がDE&Iやサステナビリティも意識したマーケティングやブランディングへの取り組みを強化

システムの連携及び開発の事例



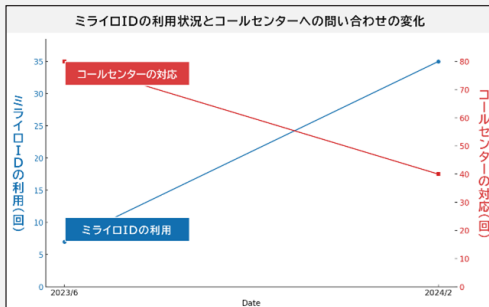
障害者手帳の情報を保有している利点を活かし、障害者割引に関する「決済」の円滑化を実現。ミライロIDと精算機管理サーバーとの連携により、障害者手帳情報を自動適用し、割引料金での支払を可能に。

ミライロIDと駐車場精算機の連携イメージ



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

- これまで目視確認や遠隔で確認をすることでできていた不正利用の防止や対応時間の削減
- ミライロIDの利用増加に伴い、コールセンターへの問い合わせは50%減少
- 自治体からの希望する声も増加しており、他の駐車場管理事業者との連携も進行中



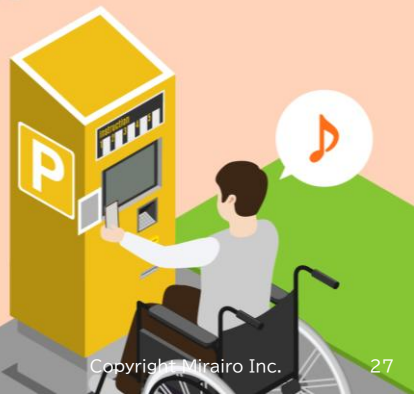
BEFORE

係員がいないと
障害者割引を
受けられない



AFTER

無人でも
障害者割引を
受けられる



システムの連携及び開発の事例

アプリ間の連携により、障害者割引に対応したチケット購入などの決済における課題の解消、独自の割引適用によるマーケティングやブランディング活用、職場における障害者情報の管理の円滑化など、多岐にわたる活用事例を創出。



- JR四国のチケットアプリ「しこくスマートえきちゃん(スマえき)」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、**障害者割引を適用したきっぷの購入が可能に。**

鉄道事業者初！ミライロIDとの連携によりJR四国のチケットアプリで障害者割引きっぷの購入が可能に！2024年11月18日よりサービスを開始します

2024.11.13(水) 新報4社、ミライロID



- デジタル社員証の社員情報とミライロIDの障害者情報の紐づけにより、働きやすい職場環境づくりを実現。
- 障害のある社員への**福利厚生や職場での孤立化の防止につなげる取り組みへ。**

デジタル障害者手帳「ミライロID」と社員IDを連携し、障害者手帳の効率的な管理を実現！一障害のある社員が働きやすい環境づくりを推進します

2024.07.20(水) 新報4社、ミライロID



- 日本コカ・コーラが提供する公式アプリ「Coke ON」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、**「Coke ON障がい者割引」の適用が可能に。**



リサーチ及びコンサルティング

ミライロIDの障害者ネットワークを活かしたリサーチ及びコンサルティングを提供。製品やサービスの開発、市場調査など、目的や規模感に応じた様々な調査が可能。

▼サービスイメージ



在籍モニター例

肢体不自由

- ▶ 程度 (下肢障害、上肢障害など)
- ▶ 状況 (等級・先天性/後天性など)
- ▶ 補助器具 (手動/電動車いす・装具など)

視覚障害

- ▶ 程度 (全盲・弱視など)
- ▶ 状況 (等級・先天性/後天性など)
- ▶ 補助器具 (白杖、半眼鏡、盲導犬など)
- ▶ 利用機器 (iPhone / Android など)

聴覚障害

- ▶ 程度 (全ろう・難聴など)
- ▶ 状況 (等級・先天性/後天性など)
- ▶ 補助器具 (補聴器、聴導犬など)
- ▶ 手段 (手話、口話、筆談など)

▼リサーチ手法

定量調査(Webアンケート)

数値や量で表せるデータを集計して分析する方法



定性調査(インタビュー・ワークショップ等)

言動などの質的データを集計して分析する方法



障害者の声を企業や社会へ届けると同時に、障害者の社会参画に貢献

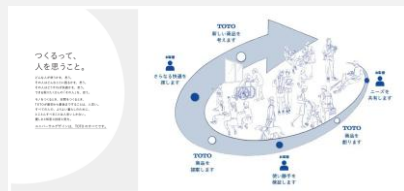
リサーチ及びコンサルティングの取り組み事例



① 株式会社ローソン銀行
ATMの新型機を開発



② ロート製薬株式会社
製品のユーザビリティ改善を実現



③ TOTO株式会社
新しいUDコンセプトを開発



④ 株式会社ナイガイ
くつした開発のイノベーションを実現



⑤ コクヨ株式会社
ダイバーシティオフィスの開発を実現

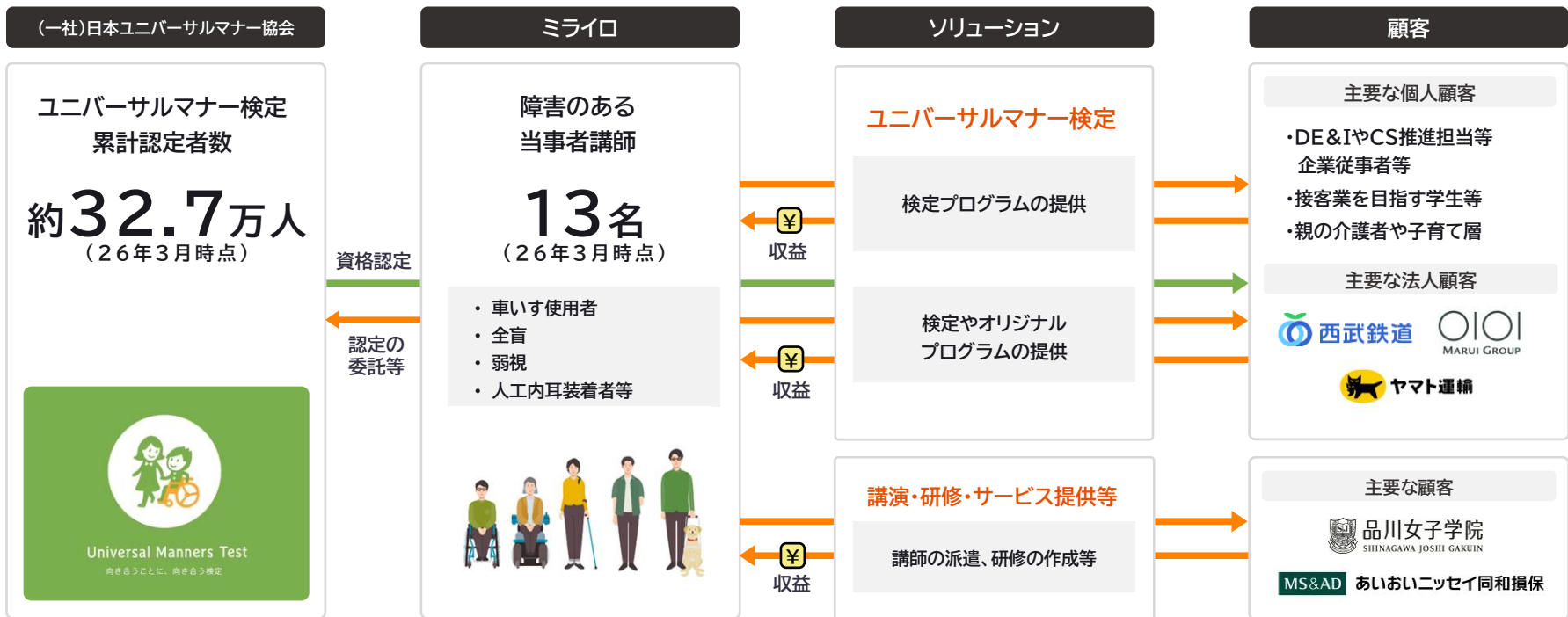


⑥ 野村不動産株式会社
施設のユニバーサルデザインガイドを策定

ニーズが反映されてこなかった人々も巻き込んだ製品開発や施設づくり

ユニバーサルマナー研修及び検定について

障害のある当事者の視点から、障害者など多様な方々に対する理解促進や対応方法のレクチャーを実施。法律や当事者心理の理解による接客時や職場のリスク軽減に加えて、資格を企業姿勢の発信としても活用が可能。プログラムや講師への高い満足度により、検定売上の6割が定期発注(過去2事業年度以内の継続発注)によるリピート売上。



¥ 収益分類: ①スポット収益(単発講演、プログラム開発費等) ②定期発注型収益(新入社員や新入生、管理職向けの検定等)

ユニバーサルマナー検定について

障害理解の促進と行動変容を促すプログラム

- 「ユニバーサルマナー」とは、多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションのことを指す当社が作成した造語
- 「ハードを変えることができなくても、ハートは今すぐ変えられる。」というコンセプトを軸に、障害者や高齢者など、多様な顧客や従業員との向き合い方を伝えるプログラムを展開
- 検定プログラムは、3級～1級のカリキュラムに加えて、業界や職種に合わせたオリジナルのプログラム作成も実施



満足度 98% ※

認定者数 32.7万人
(26年3月時点)

導入事業者数 約1,215社
(26年3月時点)

ユニバーサルマナー検定3級の概要

ユニバーサルマナーとは、人との違い／障害の社会モデル／障害者や高齢者の生活・心理／基本姿勢



課題を解決するには自身の側に変化が必要なのに気づく

障害のある当事者から多様な人々との向き合い方を学ぶ

一歩踏み出すことの不安を取り除き心のブレーキを外す

違いの理解が進み、高い確率で行動変容が起きる

目的	社内の意識醸成と行動変容	
時間	1.5時間	
形式	eラーニング／オンライン／対面	
講師	障害のある当事者講師	

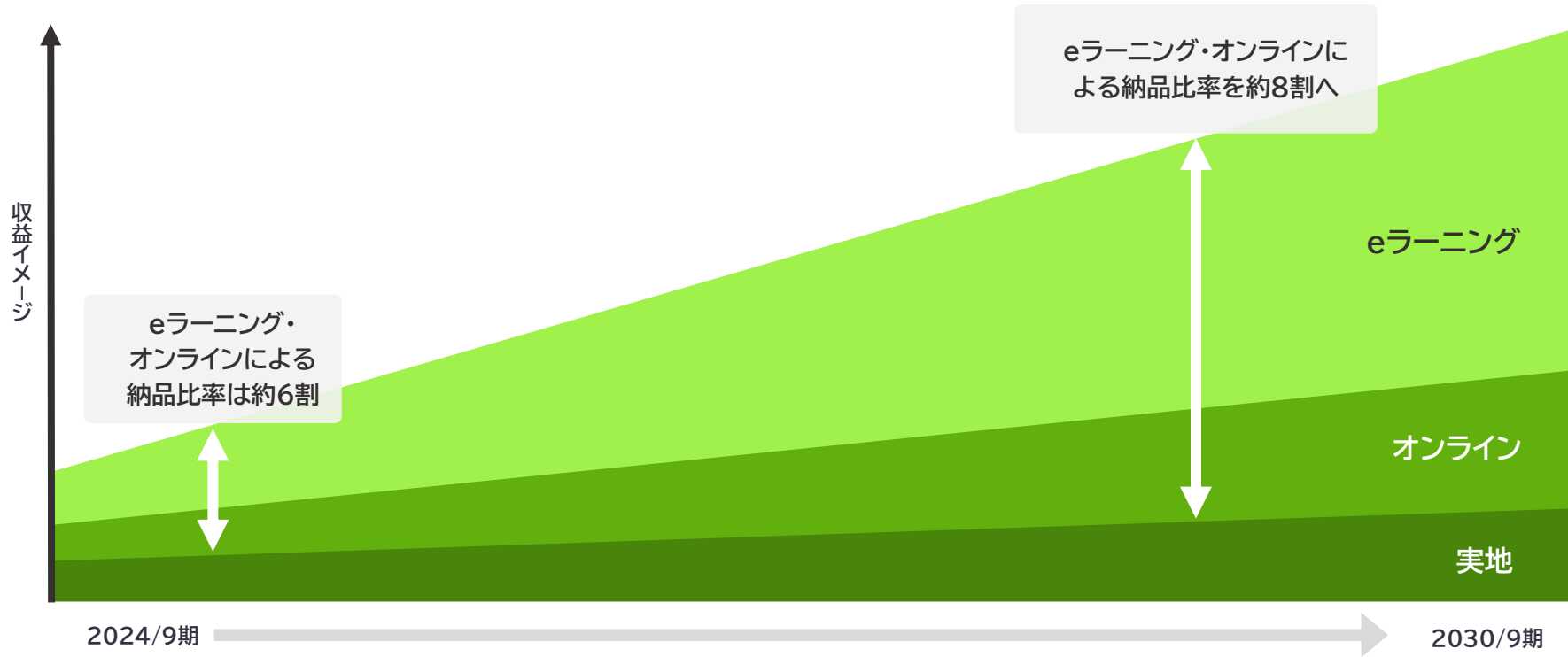


ユニバーサルマナー検定の主な導入事業者 ※2025年12月時点

<p>銀行</p> <p>株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社りそなHD 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ</p>	<p>メーカー</p> <p>トヨタ自動車株式会社 三菱自動車株式会社 花王株式会社 コクヨ株式会社 株式会社ワコール</p>	<p>小売</p> <p>株式会社三越伊勢丹HD 株式会社丸井グループ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社ローソン 株式会社ファミリーマート</p>	<p>教育機関</p> <p>学校法人上智学院 学校法人立命館 聖心女子大学 成蹊大学 学校法人ロイヤル学園</p>
<p>生命保険</p> <p>第一生命保険株式会社 日本生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社 住友生命保険相互会社 大同生命保険株式会社</p>	<p>鉄道</p> <p>西武鉄道株式会社 京王電鉄株式会社 大阪市高速電気軌道株式会社 阪急電鉄株式会社 京阪電気鉄道株式会社</p>	<p>製薬・薬局</p> <p>塩野義製薬株式会社 ウエルシア薬局株式会社 株式会社コクミン 株式会社トモズ 株式会社メディカルシステムネットワーク</p>	<p>官公庁</p> <p>財務省 神奈川県 東京都品川区 静岡県浜松市 兵庫県明石市</p>
<p>損害保険</p> <p>東京海上日動火災保険株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 SOMPOホールディングス株式会社 アクサ損害保険株式会社 日本損害保険代理業協会各地域組織</p>	<p>不動産・住宅</p> <p>三井不動産株式会社 三菱地所株式会社 東急不動産株式会社 大和ハウス工業株式会社 住友林業株式会社</p>	<p>飲料・食品</p> <p>アサヒビールHD株式会社 サッポロHD株式会社 森永乳業株式会社 ロイヤルHD株式会社 株式会社モスフードサービス</p>	<p>その他</p> <p>株式会社ファーストリテイリング 株式会社ダスキン セコム株式会社 ヤマト運輸株式会社 鴻池運輸株式会社</p>

ユニバーサルマナー検定の提供形式別の売上割合

eラーニングとオンラインを合わせた売上比率は約6割。階層や職種に合わせ、提供形式を柔軟に対応しつつ、中長期的にはシステムによる納品比率の増加により、さらなる利益率の向上を目指す。



業界別ユニバーサルマナー研修及び検定



1 西武鉄道株式会社

鉄道事業者向けのオリジナル検定を共同開発



2 ヤマト運輸株式会社

グループ独自のオリジナル検定を共同開発



3 LIFULL HOME'S

不動産事業者向けのオリジナル検定を共同開発



3 学校法人ロイヤル学園

美容サロン向けのオリジナル検定を共同開発

ユニバーサルマナーを通じて、多様性理解と行動変容を起こす

コミュニケーションサポートについて

聴覚・言語障害者の方々が社会参加しやすいように、手話や文字通訳等の情報保障サービスを提供。システムを用いた遠隔での通訳対応に加えて、イベント、会議、研修など、様々な場面への通訳者の派遣も実施。



¥ 収益分類: ①スポット収益(単発の通訳者派遣、初期費用等) ②リカーリング収益(サービス利用料等) ③トランザクション収益(従量課金等)

情報保障の提供

聴覚障害者の53%が企業の情報保障に不満を持っており※、手話や文字による情報保障を提供することで、聴覚障害者の希望と企業対応におけるギャップを解消し、希望に沿った情報保障を提供することが求められる。



● 聴覚障害者の希望する情報保障と企業対応のギャップ

コミュニケーション手段	聴覚障害者の希望	企業の対応
手話通訳	59.3%	27.2%
自動音声認識システム	59.3%	39.5%
文字通訳	39.5%	8.6%
筆談	39.5%	56.8%
口話	23.5%	49.4%

cf.ミライロ「聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」令和3年

内容



手話・文字通訳派遣

(導入例)

会議/研修/面接/
イベント等



手話リレーサービス

(導入例)

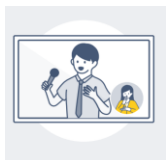
金融機関のコール
センター等



遠隔手話通訳

(導入例)

行政窓口/
医療機関等



動画字幕や手話挿入

(導入例)

研修動画/サービス
紹介動画等



ツールの導入

(導入例)

社内会議/研修/
イベント

要件

目的	聴覚障害者とのコミュニケーション支援
通訳	手話/文字
形式	現地/オンライン
担当	手話通訳者/文字通訳者
備考	音声文字化アプリ等のツール導入支援も可



大阪本社…大阪市淀川区西中島三丁目8番15号

東京支社…東京都品川区東五反田五丁目26番5号

株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害のある方が利用するスクリーン・リーダー(コンピュータの画面読み上げソフトウェア)では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があります。「障害は人ではなく環境にある」という考えのもと、表記のみにとらわれず、社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。